

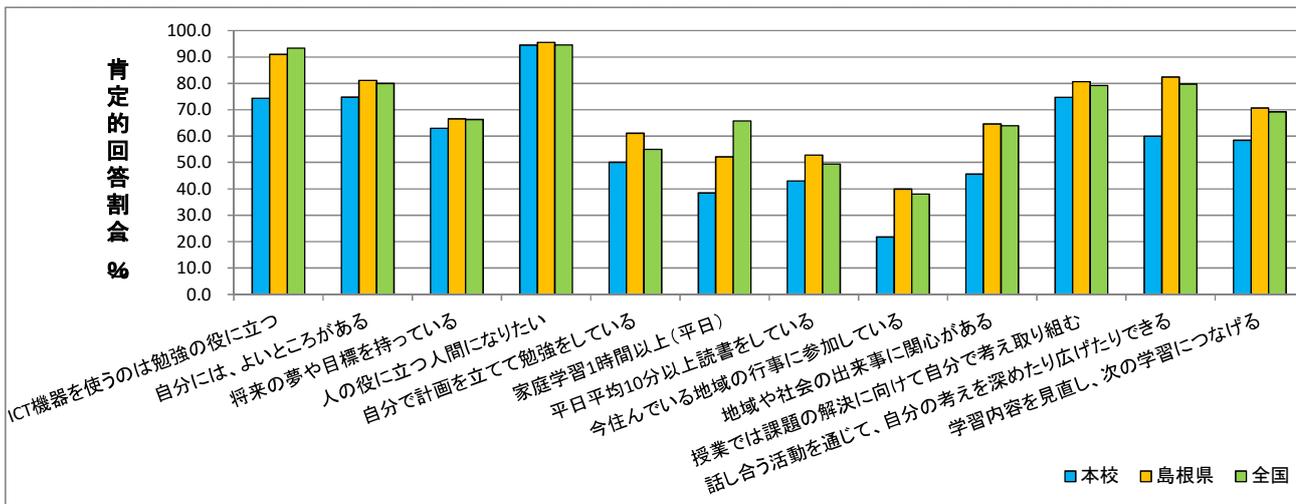
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○一般的な言葉の意味をきちんと理解している生徒が多い。 ●「表現の効果」として使われている「引用」「敬体」「問いかけ」などの意味を正しく理解できていない生徒がかなりいる。 ●「書く」ことの設問に対しては何をどんなふうにか書けばよいのか分からないゆえの「無回答」が多いと考えられる。	・「表現の効果」などの国語の基礎的な知識を問題文と結びつけて理解させるような授業を設定する。 ・生徒の能力に応じて設問の内容を理解しやすいようなヒント付きの課題を選択できるようにして繰り返し書かせる。
数学	○繰り返しの学習をすることにより、基礎的な計算能力は定着してきている。 ●説明力、読解力、求め方を考える力に課題がある。 ●グラフから読み取る力に課題がある。	・説明問題、証明問題の対策に力を入れる。 ・各々の考え方を共有する機会を作る。(ICTが活用できればよい) ・グラフや図から読み取る問題を授業に多く取り入れる。
英語	○情報を正確に聞き取る力はついてきている。 ●長文の概略を読み取る力、自分の考えを理由と共に表現する力に劣る。	・まとまった文の概略をつかむ練習を継続して行う。 ・モデルを示しながらまとまった英文を書く練習を繰り返し行う。

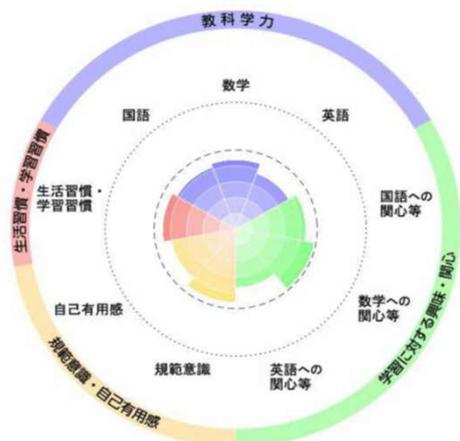
(2)生徒質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○朝食・就寝時間・起床時間など保健環境部の取組により規則正しい生活ができてきている生徒が多い。 ●普段の学習活動が自分のためになっているという実感がなく傾向がある。 ●「学校に行くのが楽しい」と思えない生徒の割合が高い。	・地域の協力は熱心であるので、生徒への報告や地域の方の活動をたくさん周知させる必要がある。 ・班活動の活性化や課題の示し方の工夫をし、主体的に学校生活・学習活動に参加できるよう、主体的に学ぶような雰囲気醸成する。

(3)生徒質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・タブレットなどのICT機器を使うことが学習の役に立つと考えている生徒が全国・島根県の数値に比べると低い。教職員自体が使用についての事例を学ぶと共に、生徒が主体的に使いたくなるような学習課題の設定など実体験をともなった学びの機会を提供する必要がある。またICTを使うことが目的ではなく、授業のゴールから逆算した活用方法を講じなければならない。

【受検者数】

200 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。